



指定診療科について

どんなキャリアを積み、どんな医師になるのか？

令和8年6月28日

神奈川県 健康医療局 医務担当部長

山崎元靖

(神奈川県キャリアコーディネーター)

自己紹介

- 神奈川県庁で医療政策等を担当 **（行政医師）**
- 医学部卒業後、28年間、病院勤務 **（臨床医）**
- 2023年、神奈川県庁に入職 **（公衆衛生へ）**

ここからは

- 「**県の制度説明**」という目線ではなく
- 「**医師のキャリア**」という**個人**の目線で
- 画一的ではない、**個別性**の大きい話を
- 「ルール」というより「**参考**」として

修学資金等の制度



神奈川県

医師としてのキャリア



両立の支援

修学資金等の制度



神奈川県

医師としてのキャリア



キャリアコーディネーター

今日の視点

修学資金等の制度



神奈川県

医師としてのキャリア



キャリアコーディネーター

医学の分野

臨床医学



社会医学

基礎医学



メインの分野

- 臨床医学・基礎医学・社会医学
- どれか1つをメインに選ぶことが多い
- しかし、どの分野も密接に関連している
- 全医師が全分野に関わっているとも言える

いろいろな関わり方

- ・ **同時に複数に関わる医師**

例) 週4日は病院勤務、週1日は基礎医学の研究

- ・ **キャリアの中で変わっていく医師**

例) 山中伸弥先生：整形外科医 ⇒ iPS細胞研究

私：救急医・外科医 ⇒ 公衆衛生・行政

医学の分野

臨床医学



社会医学

基礎医学



地域枠のメイン分野（9年間）

臨床医学
(8診療科)



社会医学

基礎医学



自治医科大学のメイン分野 (9年間)

臨床医学
(総合的な)



社会医学

基礎医学



- 選択する医師の人数が最も多い
- 大学卒業後、ほぼ全員が2年間の臨床研修
- その後、診療科を専攻して、専門研修
- 19の診療科（基本領域）から1つを選ぶ

19の基本領域

- 内科
- 小児科
- 整形外科
- 皮膚科
- 外科
- 産婦人科
- 耳鼻咽喉科
- 精神科
- 救急科
- 脳神経外科
- 放射線科
- 眼科
- 麻酔科
- 総合診療
- 泌尿器科
- 病理
- 形成外科
- 臨床検査
- リハビリテーション科

地域枠の指定診療科（8科）

- ・ 内科
- ・ 小児科
- ・ 外科
- ・ 産婦人科
- ・ 救急科
- ・ 脳神経外科
- ・ 麻酔科
- ・ 総合診療

- ・ 整形外科
- ・ 皮膚科
- ・ 耳鼻咽喉科
- ・ 精神科
- ・ 放射線科
- ・ 眼科
- ・ 泌尿器科
- ・ 病理
- ・ 形成外科
- ・ 臨床検査
- ・ リハビリテーション科

専門研修の後

- 専門研修後、さらに細分化した領域へ
例) 外科修了 ⇒ 心臓血管外科
- 複数を選択する医師もいる
例) 私：外科 & 救急科 のダブルボード
- 診療の現場では境界が曖昧なことも
例) 腹痛 ⇒ 内科・外科・救急科など

注意点1 産科

- 内科
- 小児科
- 外科
- **産婦人科**
(産科が必須)
- 救急科
- 脳神経外科
- 麻酔科
- 総合診療

- 整形外科
- 皮膚科
- 耳鼻咽喉科
- 精神科
- 放射線科
- 眼科
- 泌尿器科
- 病理
- 形成外科
- 臨床検査
- リハビリテーション科

注意点2 整形外科

- 内科
- 小児科
- 外科
- 産婦人科
- 救急科
- 脳神経外科
- 麻酔科
- 総合診療

- **整形外科**
- 皮膚科
- 耳鼻咽喉科
- 精神科
- 放射線科
- 眼科
- 泌尿器科
- 病理
- 形成外科
- 臨床検査
- リハビリテーション科

専攻別の人数（2026年）神奈川県

指定診療科以外

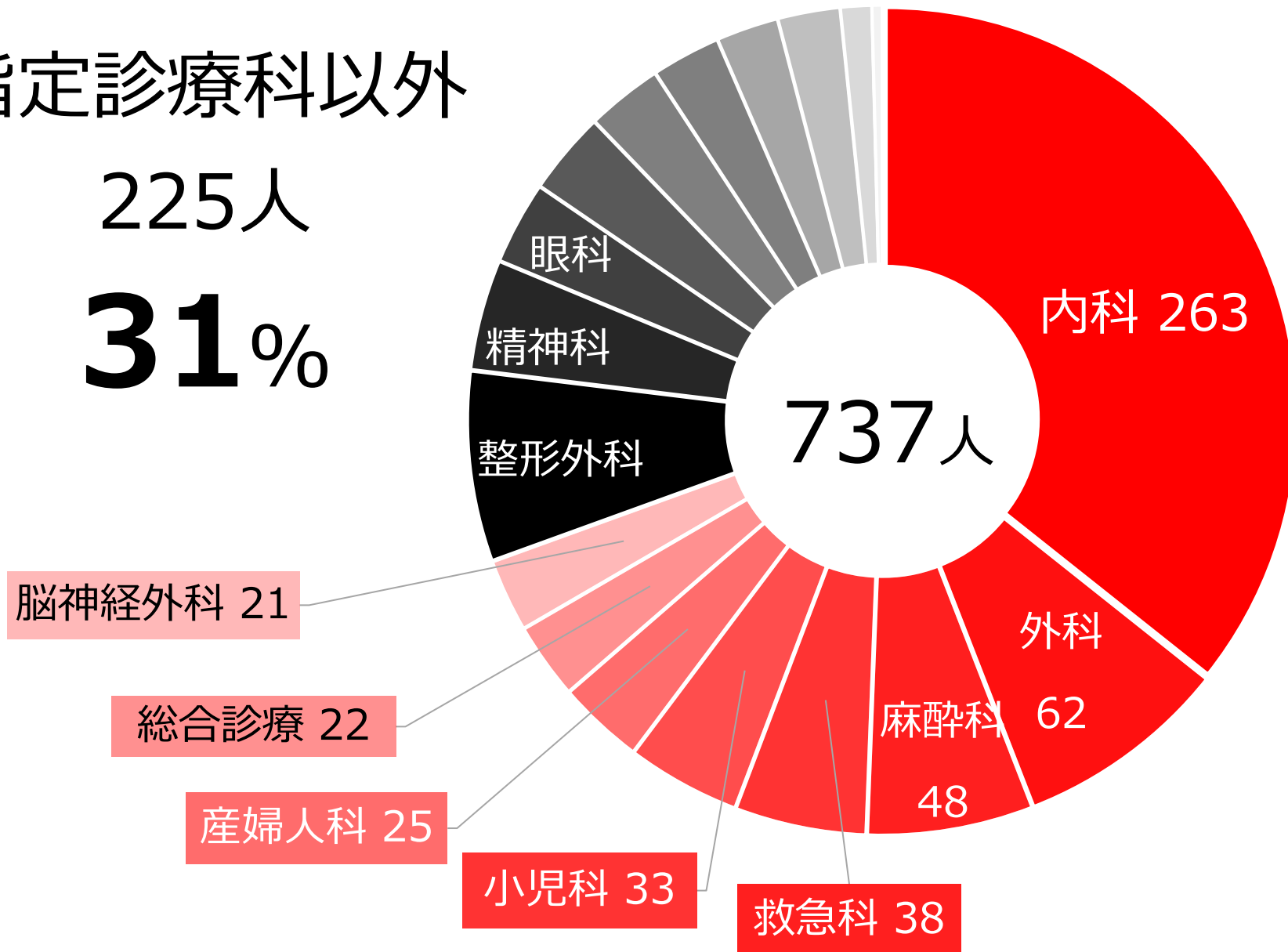
225人

31%

指定診療科

512人

69%



19の基本領域

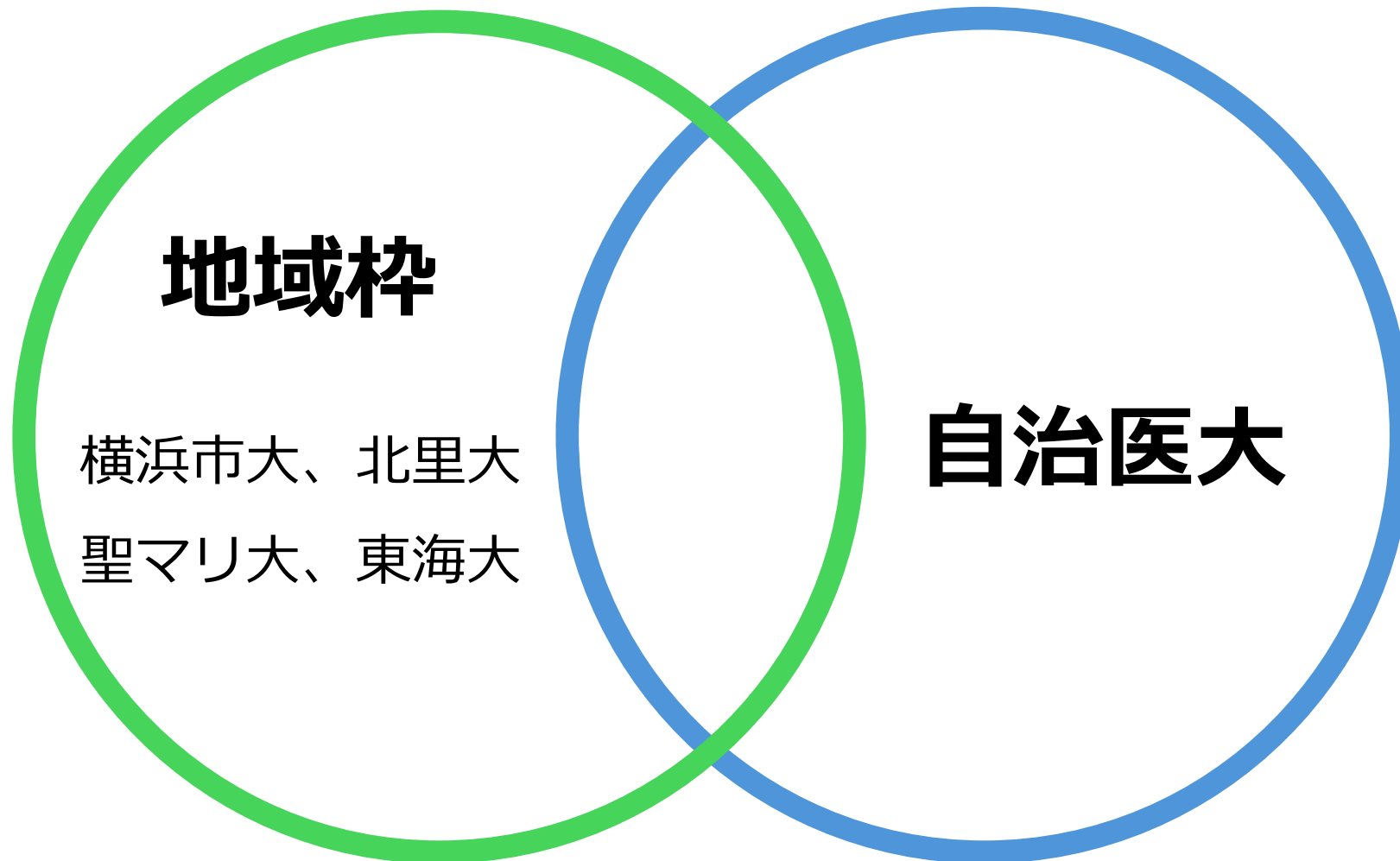
- 内科
- 小児科
- 整形外科
- 皮膚科
- 外科
- 産婦人科
- 耳鼻咽喉科
- 精神科
- 救急科
- 脳神経外科
- 放射線科
- 眼科
- 麻酔科
- 総合診療
- 泌尿器科
- 病理
- 形成外科
- 臨床検査
- リハビリテーション科

自治医科大学

- 内科
- 外科
- 救急科
- 麻酔科
- 小児科
- 産婦人科
- 脳神経外科
- **総合診療**
- 整形外科
- 耳鼻咽喉科
- 放射線科
- 泌尿器科
- 形成外科
- リハビリテーション科
- 皮膚科
- 精神科
- 眼科
- 病理
- 臨床検査

+ 公衆衛生

専門医取得等のキャリア支援と多様な経験



地域枠の医師像

| | | 診療科 | |
|----|--------------|------|-------|
| | | 8診療科 | 11診療科 |
| 地域 | 相模原市 他市町村 | 4年間 | |
| | 横浜市 川崎市 | | |

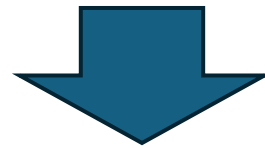
- 一定の期間
- 一定の地域
- 一定の診療科
- 一定の医師数



経験を元に**多様な**キャリアを

建学の精神：**医療の谷間に灯をともす**

- ・典型的には、僻地や離島での医療
- ・県内にも、各地に医療の谷間がある



総合的な能力で、谷間を照らす存在に

清川村 煤ヶ谷診療所



自治医科大卒（福井県）

地域医療のプロフェッショナル

おおい町 名田庄診療所で勤務

私の専門は「**名田庄村**」です。

- ・ 外科専門医

- ・ 救急科専門医

※ 日本専門医機構が認めた基本領域の資格

※ ダブルボードは比較的希だが一部制度化

私が取得した専門医等の資格

- 社会医学系専門医（災害医学）
 - 外傷専門医
 - Acute Care Surgery 認定外科医
- ※ いずれも日本専門医機構が認めた資格ではない

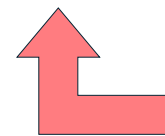
その他の資格

- DMAT隊員（災害派遣医療チーム）
- 臨床研修指導医
- 医療安全管理者
- 産業医（現在は資格喪失）

※ 専門医以外にも業務や関心に応じて取得する資格

私のキャリア

| 1年目 | 2年目 | 3年目 | 4年目 | 5年目 | 6年目 | 7年目 | 8~13年目 | 13~28年目 | 29年目~ |
|---------|----------|---------|---------|----------|---------|---------|---------|------------------------|-------------------|
| 母校の大学病院 | 神奈川県内の病院 | 母校の大学病院 | 母校の大学病院 | 神奈川県内の病院 | 母校の大学病院 | 地方の大学病院 | 母校の大学病院 | 神奈川県内の病院 (救命救急センター) | 公衆衛生医師 (神奈川県庁) |



個人的なターニングポイント

私の感想

- 自分も高校生の時には思いもしなかった人生
- 最初の9年間だけを考えることはナンセンス
- それぞれの制度と、目指す医師像をイメージ
- 単なる入試の制度、と考えるともったいない
- 地域枠、自治医大生ならではのチャンスも